

【心理士の研修内容】

国立がん研究センターにおいて、がん患者・家族を対象としたコンサルテーション活動をおこなうためには、以下の7領域の知識およびスキルの習得が必須と考えます。特に、3ヶ月間の初期研修では、コンサルテーションの入り口である予診が取れることを目標に、研修をすすめます。研修用スライドや参考図書、インターネットを利用した自主学習をすすめる基本的な知識およびスキルを習得してください。臨床に赴く際には、メモ帳を持ち歩き、分からない言葉や内容をメモに残す、時間がある時に精神腫瘍医に質問したり、自分で調べ学ぶことを習慣にしてください。

領域	学習内容	学習方法・使用資料
① 基礎医学	○人体の構造と機能について知る ◎検査データの基本的な読み方を学習する	参考文献・Web ページ一覧を参照 臨床業務（カルテの記載内容など）
② がん	◎診断から治療の流れを知る ◎抗がん剤と主な副作用について学習する	スライド 参考文献・Web ページ一覧を参照 臨床業務（カルテや面談票など）
③ サイコ オンコロジー	◎がんが心に与える影響（通常反応）を理解する ◎心ががんに与える影響について理解する ◎がん患者との接し方の基本的技術を習得する	スライド 参考文献・Web ページ一覧を参照 臨床業務やカンファレンス、症例検討会
④ 精神医学	◎DSM を念頭においてアセスメントできる ◎主な精神疾患について知る 1. せん妄 2. うつ病・適応障害 3. 認知症 ○向精神薬の使い方について理解する ○精神症状の出やすい薬剤や疾患を知る	スライド 参考文献・Web ページ一覧を参照 臨床業務
⑤ 緩和ケア	◎WHO の5原則を理解する ◎鎮痛薬の3種類、鎮痛補助薬について知る ○緩和ケア科が実施していることを知る	参考文献・Web ページ一覧を参照 緩和ケア科での短期研修
⑥ チーム医療	◎コンサルテーションの流れを知る ○各職種の業務内容について知る （緩和、SW、薬剤師、栄養士） ○社会面（介護、保険）の基礎知識を学習する ◎ベッドサイドおよび病棟マナーを習得する	スライド 臨床業務
⑦ 心理士業務	◎外来、病棟の予診がとれる ◎カルテ記載ができる ◎心理検査（MMSE、HDS-R、FAB、WAIS）が施行できる ○カウンセリング、リラクゼーションを含む心理療法ができる	参考文献・Web ページ一覧を参照 臨床業務

◎ 習得することが必修と考えられる項目

○ 今後習得することが望ましい項目

【自己評価】

3ヶ月間の初期研修を終えて、各項目がどれだけ達成できたか、振り返りをして自己評価してください。今後の研修にいかしてください。

A：十分に達成できた

B：概ね達成できた

C：不十分

領域	学習内容	達成度
① 基礎医学	◎検査データの基本的な読み方を学習する	
	○人体の構造と機能について知る	
② がん	◎診断から治療の流れを知る	
	◎抗がん剤と主な副作用について学習する	
③ サイコ オンコロジー	◎がんが心に与える影響（通常反応）を理解する	
	◎心ががんに与える影響について理解する	
	◎がん患者との接し方の基本的技術を習得する	
④ 精神医学	◎DSMを念頭においてアセスメントできる	
	◎主な精神疾患について知る	
	1. せん妄	
	2. うつ病・適応障害	
	3. 認知症	
	○向精神薬の使い方について理解する	
	○精神症状の出やすい薬剤や疾患を知る	
⑤ 緩和ケア	◎WHOの5原則を理解する	
	◎鎮痛薬の3種類、鎮痛補助薬について知る	
	○緩和ケア科が実施していることを知る	
⑥ チーム医療	◎コンサルテーションの流れを知る	
	◎ベッドサイドおよび病棟マナーを習得する	
	○社会面（介護、保険）の基礎知識を学習する	
	○各職種の業務内容について知る （緩和、SW、薬剤師、栄養士）	
⑦ 心理業務	◎外来、病棟の予診がとれる	
	◎カルテ記載ができる	
	◎心理検査（MMSE、HDS-R、FAB、WAIS）が施行できる	
	○カウンセリング、リラクゼーションを含む心理療法ができる	

◎習得することが必修と考えられる項目

○ 今後習得することが望ましい項目

【参考文献およびWeb情報の紹介】

領域	タイトル（出版社/URL）
① 基礎医学	◎カルテを読むための医学用語・略語・ミニ辞典（医学書院） ・あたらしい人体解剖学アトラス（メディカル・サイエンス・インターナショナル） ・救命救急士標準テキスト上・下（へるす出版）
② がん （その他疾患を 含む）	<疾患および身体症状> ◎がん情報サイト(http://cancerinfo.tri-kobe.org/index.html) ◎がん診療レジデントマニュアル第4版（医学書院） ・がんサポート (http://www.gsic.jp/cancer/index.html) ・がん情報 (http://ganjoho.ncc.go.jp/public/index.html) ・PDQ®日本語版 (http://mext-cancerinfo.tri-kobe.org/database/pdq/index.html) ・ナースのためのオンコロジー--これだけは知っておきたい がんの知識（医学書院） ・メルクマニュアル (http://merckmanual.banyu.co.jp/) ・今日の治療指針（医学書院） <薬剤> ◎おくすり110番 (http://www.jah.ne.jp/~kako/) ・イーファーマ (http://www.e-pharma.jp/) ・今日の治療薬（医学書院）
③ サイコ オンコロジー	◎精神腫瘍学クイックリファレンス（創造出版） ◎精神腫瘍学ポケットガイド これだけは知っておきたい医療における心のケア（創造出版）
④ 精神医学	<精神疾患> ◎DSM-IV-TR（医学書院） ・精神科診断面接マニュアル（メディカル・サイエンス・インターナショナル） ・精神科身体合併症マニュアル（医学書院） ・カプラン臨床精神医学テキスト DSM-IV-TR 診断基準の臨床への展開（メディカル・サイエンス・インターナショナル） ・精神科診察診断学エビデンスからナラティブへ（医学書院） ・精神科診断面接マニュアル SCID（日本評論社） ・精神・心理症状学ハンドブック（日本評論社） <向精神薬> ◎おくすり110番 (http://www.jah.ne.jp/~kako/) ・現場で役立つ精神科薬物療法入門（金剛出版） ・こころの治療ハンドブック（星和書店）
⑤ 緩和ケア	◎ステップ緩和ケア（緩和ケア普及のための地域プロジェクトOPTIM） ・がん疼痛治療のレシピ（春秋社）
⑥ チーム医療	・接遇の基本第2版（国立がんセンター東病院）
⑦ 心理業務	◎リラクゼーション法の理論と実践-ヘルスケア・ワーカーのための行動療法入門（医歯薬出版） ・エビデンスベース心理治療マニュアル（日本評論社）
その他	◎当部が用意したスライド集 ・当部スタッフの原稿 ・JPOS 研修冊子 ・日経メディカルオンライン (http://medical.nikkeibp.co.jp/)

◎ これまで研修を受けた心理士が「役に立った」と評価した参考文献およびWeb情報